

北九州市の財政状況と 起債運営について

平成30年10月



北九州市
City of Kitakyushu



1. 北九州市の概要

北九州市のプロフィール		4
「住みよい街」北九州市		5

2. 北九州市の起債運営について

北九州市の起債運営について		7
平成30年度市債発行計画		8
平成29年度市債発行実績		9
北九州市債の活用状況		10

3. 北九州市のまちづくり

「ものづくりの街」北九州市		12
「世界の環境首都」北九州市		13
「北九州市環境未来都市」から「SDGs未来都市」へ		14
SDGs戦略(ビジョン)		15
SDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組事例		16
地方創生の取り組み		17
住みよいまちをつくる		18
活力あるまちをつくる		19
魅力あるまちをつくる		20

4. 北九州市の財政状況

歳入決算額の推移		22
市債発行額及び市債残高の推移		23
歳出決算額の推移		24
健全化判断比率について		25
公営企業の経営状況について		26
地方三公社の決算状況について		27
外郭団体の決算状況について		28
行財政改革の取り組みについて		29
北九州市の財務書類		30
平成30年度予算の概要		31

1. 北九州市の概要



北九州市の概要

発足	昭和38年(1963年)2月、5市合併により誕生 五大市に次ぐ全国6番目の政令市
面積	491.95 km ²
人口	961,024人(平成30年1月1日現在)
世帯数	481,717世帯(平成30年1月1日現在)

東アジアに近い北九州市

- アジアの中で北九州市は東京と上海の中心
- 上海までは約1,000kmで、東京までと同程度
- 釜山までは230kmで、大阪より近い



個性豊かな7区



ユネスコ無形文化遺産登録された
戸畑祇園大山笠



唐造りの天守閣をもつ
小倉城



大正浪漫たどる建物が
多く残る門司港レトロ地区



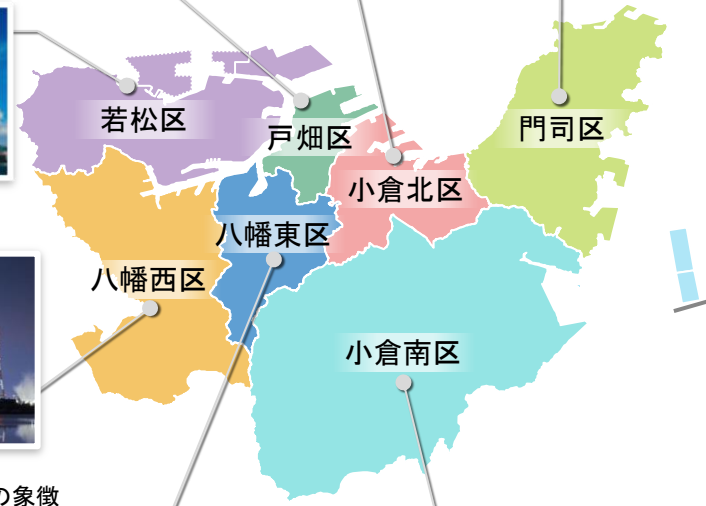
若松と戸畑を結ぶ若戸大橋



魅力ある工場夜景
三本の赤白煙突は黒崎エリアの象徴



世界文化遺産に登録された
官営八幡製鐵所旧本事務所



平尾台のカルスト台地



北九州市は、都会の便利さと田舎の快適さをあわせ持ち、

「住みやすい街」として全国的にも高い評価をいただいています



1

「住みたい田舎ベストランキング」

全国 第1位

- ◆ 宝島社・田舎暮らしの本2018年2月号「住みたい田舎ベストランキング」大きなまち総合部門・シニア部門2冠

2

「次世代育成環境ランキング2017年度」

政令市 第1位

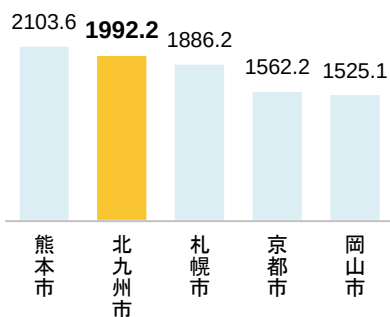
- ◆ NPO法人エガリテ大手前(東京都)「次世代育成環境ランキング」7年連続第1位



医療機関、医療制度が充実

- ・人口10万人あたりの病床数は20政令市で第2位
- ・90の病院と961の一般診療所(平成29年4月時点)

人口10万人あたりの病院病床数



アクセスがよい

- ・平均的な通勤時間は24分
- ・JRやバス、モノレールなどの公共交通機関が整備
- ・新幹線、北九州空港、フェリーによる遠方へのアクセスも便利

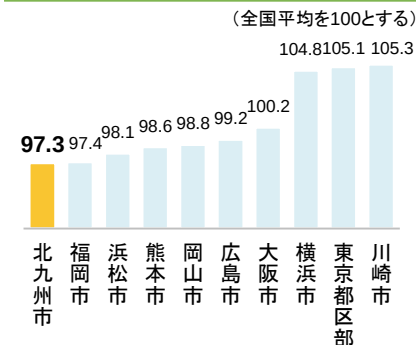
陸・海・空の交通が充実



物価が安い

- ・全国物価平均を100とすると、北九州市は97.3
- ・政令指定都市では最も物価が安い

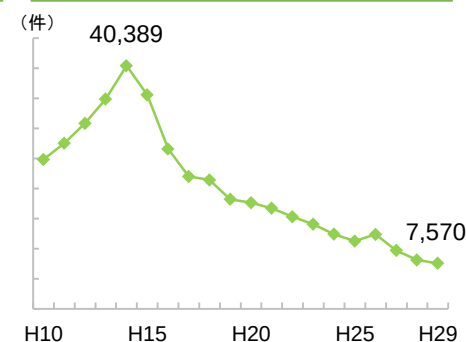
政令指定都市別消費者物価地域差指数



安全安心

- ・刑法犯認知件数は平成14年にピークに、平成29年中は7,570件となり約5分の1の水準まで減少
- ・平成29年の市民意識調査結果では、「防犯、暴力追放運動の推進」が1位(3年連続)

刑法犯認知件数



2. 北九州市の起債運営について



Kitakyushu Commitment

KC1

市場との対話を重視し、投資家の皆様に広く受け容れていただけるよう起債運営に努めます。

KC2

投資家の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて、商品性の向上に努めます。

起債運営の特長

1 多様な年限での発行

- 投資家の皆様の多様なニーズに応えるため、5年債、10年債、超長期債を発行します。
- 5年債は「シ団交渉方式」、10年債は「競争型幹事方式」、超長期債は「主幹事方式」により発行します。

2 フレックス枠の設定

- 年度の発行計画において、年限を予め定めない「フレックス枠」を設定しています。
- 年限多様化への対応や増額への対応など投資家の皆様のニーズに応じて、「フレックス枠」を活用して柔軟に対応いたします。

3 年間主幹事制の採用

- 全ての年限の起債運営に関わる「年間主幹事制」を採用しています。
- 年間主幹事を通じて投資家の皆様との対話を行いながら、市場環境を踏まえた柔軟かつ機動的な起債運営に努めます。

これまでの取り組み

- 平成18年度
- ・ **20年債**を初起債
 - ・ 個別条件交渉方式へ移行
- 平成24年度
- ・ 10年債で**競争型幹事方式**を導入
- 平成25年度
- ・ 超長期債で**年間主幹事制**を導入
- 平成26年度
- ・ **15年債**を初起債
- 平成27年度
- ・ **20年定時償還債**を初起債
 - ・ **30年定時償還債**を初起債
※地方債市場初
- 平成28年度
- ・ **10年債**で**主幹事方式**を導入
 - ・ **10年定時償還債**を初起債

平成30年度市債発行計画

平成30年度市場公募債発行計画

(単位: 億円)

- 平成30年度の市場公募債(全国型)は、年間1,000億円を発行予定
- 5年債は9月に150億円を発行、10年債は12月に150億円を発行予定
- 超長期債200億円＋フレックス枠200億円は、20年債、20年定時償還債、30年定時償還債の発行に活用
 - 5月に30年定時償還債を200億円発行
 - 6月に20年定時償還債を100億円と20年満期一括償還債を100億円発行
- 共同発行債は300億円(年6回)を発行予定

年限	平成30年度 市場公募債発行予定: 合計1,000億円												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債						150							150
10年債									150				150
20年債			100										100
20年定時償還債			100										100
30年定時償還債		200											200
フレックス枠		30年定時 100増額	20年満括 100発行										(200)
共同発行債	50	50		50	50			50			50		300
合計	50	250	200	50	50	150		50	150		50		1,000
5年債(住民参加型)						5							5

平成30年度市場公募債(個別債)発行計画

	北九州市 第5回 30年公募公債 (定時償還)	北九州市 第5回 20年公募公債 (定時償還)	北九州市 第21回 20年公募公債	北九州市 平成30年度 第1回公募公債 (5年・住民参加型)	北九州市 平成30年度 第2回公募公債 (5年)
条件決定日	H30.5.11	H30.6.1	H30.6.1	H30.9.6	H30.9.11
発行額	200億円	100億円	100億円	5億円	150億円
表面利率	0.709%	0.358%	0.554%	0.050%	0.030%
発行価額	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭
発行日	H30.5.22	H30.6.14	H30.6.14	H30.9.27	H30.9.27
償還日	H60.5.22	H50.6.14	H50.6.14	H35.9.27	H35.9.27

平成29年度市債発行実績

平成29年度市場公募債発行実績

(単位:億円)

年限	平成29年度 市場公募債発行実績: 合計1,050億円												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債						150							150
10年債									200				200
20年定時償還債			200										200
30年定時償還債		200											200
共同発行債	50	50		50	50			50			50		300
合計	50	250	200	50	50	150		50	200		50		1,050
5年債(住民参加型)						5							5

平成29年度市場公募債(個別債)発行計画

	北九州市 第4回 30年公募公債 (定時償還)	北九州市 第4回 20年公募公債 (定時償還)	北九州市 平成29年度 第1回公募公債 (5年・住民参加型)	北九州市 平成29年度 第2回公募公債 (5年)	北九州市 平成29年度 第3回公募公債 (10年債)
条件決定日	H29.5.18	H29.6.2	H29.9.6	H29.9.8	H29.12.8
発行額	200億円	200億円	5億円	150億円	200億円
表面利率	0.689%	0.358%	0.050%	0.020%	0.210%
発行価額	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭
発行日	H29.5.29	H29.6.12	H29.9.27	H29.9.27	H29.12.22
償還日	H59.5.29	H49.6.12	H34.9.27	H34.9.27	H39.12.22



ひびきの小学校の新設

- 市民センター、放課後児童クラブを合築した複合施設
(市内新設校では初)



ひびきの小学校

ミクニワールドスタジアム北九州 (北九州スタジアム)の整備

- 1万5千人収容の高規格スタジアム
- 小倉駅新幹線口から徒歩7分
- 「海ちか、街なかスタジアム」



ミクニワールドスタジアム北九州

小倉南図書館の整備

- 平成30年3月30日開館



小倉南図書館

桃園市民プールの整備

今後活用する事業

- 公共施設マネジメント実行計画（集約化事業）に則り、平成31年度末の完成に向けて事業実施中
- 東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致等対応可能施設



桃園市民プール(平成31年度末完成予定)

3. 北九州市のまちづくり



北九州市は、官営八幡製鐵所の創業(1901年)以来

「ものづくりの街」として、日本の近代化と高度成長を支えています



官営八幡製鐵所/旧本事務所

平成27年7月5日、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、第39回ユネスコ世界遺産委員会において、**世界文化遺産に登録**されました



工業都市として110年の実績

- 素材産業 → プラント・エンジニアリング → 機械・金属加工産業、自動車関連産業 → 環境エネルギー産業等の先端技術へ発達

<日本を代表するものづくり産業が集積(1901年～)>



ものづくりを 牽引する市内企業

- ① TOTO※
- ② 安川電機※
- ③ 三井ハイテック※
- ④ 黒崎播磨※
- ⑤ 新日鐵住金
- ⑥ 日立金属若松
- ⑦ 三菱ケミカル
- ⑧ プリヂストン
- ⑨ シャボン玉石けん※
- ⑩ ゼンリン※ etc...

※は北九州市内に本社

ものづくりの街・北九州市の成長ポテンシャル

- 災害への強さ、安定的な創業が可能で業務継続性を確保
- 港湾・空港・高速道路網等のインフラや産業用地が充実
- 学術研究都市など理工系大学・研究機関立地で豊富な人材を供給



過去5年間の企業誘致実績
(平成25～29年度)

誘致件数: **207件**

新規雇用: **3,423人**

投資額: **1,185億円**



北九州市では、公害克服の技術と経験を生かし、環境国際協力や循環型社会づくりを進めるとともに、「**世界の環境首都**」を目指したまちづくりを推進します

環境分野における取り組み ～公害を克服した技術力を世界へ～

エコタウン事業(平成9年～)の推進

- ・日本初、日本最大級のエコタウン
- ・環境ビジネスを進め、環境と経済を両立するモデルを構築
- ・循環型社会づくりを着実に推進
- ・780億円の投資、1,000名の雇用、毎年10万人の見学者



環境国際協力、環境ビジネスの輸出

- ・廃棄物管理、エネルギー、上下水道、環境保全など環境技術を輸出

<取り組み>

ハイフォン市(ベトナム)	グリーン成長推進計画策定支援・U-BCF整備事業(海外水ビジネス)受注
カンボジア 主要9都市	海外水ビジネスの展開
スラバヤ市 (インドネシア)	廃棄物管理・エネルギー・排水処理など総合的なグリーンシティの輸出
インド、中国、 ミャンマー等	エコタウンの推進や電気・電子廃棄物のリサイクルなど 大連等の友好都市から研修員の受入を実施
南アフリカ	海水を淡水化するビジネスを展開



ウォータープラザ
北九州



ハイフォン市で稼働中のU-BCF
(高度浄水処理装置)



研修員受入れ

これまでのあゆみ

公害克服の経験と実績による高い国際評価

1990年	・国連「グローバル500」受賞
1992年	・「国連自治体表彰」(日本初) 受賞
2000年	・国連ESCAP大臣会合「クリーンな環境のための 北九州イニシアチブ」採択
2002年	・「地球サミット2002持続可能な開発表彰」受賞など
2011年	・OECD「グリーン成長モデル都市」選定 「環境」と「経済」が両立する「グリーン成長都市」として、パリ、 シカゴ、ストックホルムとともに、アジアで初めて選定 ・「グリーンアジア国際戦略総合特区」選定
2013年	・第15回日中韓三カ国大臣会合を北九州市で開催
2016年	・「G7北九州エネルギー大臣会合」開催 2016年5月の伊勢志摩サミットにあわせて北九州市で G7エネルギー大臣会合を開催
2018年	・OECD「SDGsモデル都市」選定



G7北九州エネルギー大臣会合

「SDGs(持続可能な開発目標)」

- 「SDGs」(持続可能な開発目標)は、国連の全加盟国(193カ国)が合意した、2030年の達成を目指した世界の目標(17のゴール、169のターゲットで構成)



17のゴールの多くは、「北九州市環境未来都市」の既存施策と関連
これまでの取組を推進することでSDGsの達成に貢献

「北九州市環境未来都市」の主な取組

- | | | |
|------------------------|--------------|----|
| ■ 北九州市地域エネルギー拠点化推進事業 | 【環境:低炭素・省エネ】 | |
| ■ 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業 | 【環境:低炭素・省エネ】 | |
| ■ 日中大気汚染・省エネ対策共同事業 | 【環境:大気】 | |
| ■ 官民連携による海外水ビジネス | 【国際環境ビジネス】 | |
| ■ 健康で元気な高齢者をつくる多世代交流事業 | 【超高齢化】 | など |



国内外からの高い評価

第1回「ジャパンSDGsアワード」 特別賞を受賞(2017.12.26)

- ・ 280団体以上の応募に対し12団体が受賞(自治体は北九州市と下川町のみ)
- ・ 市場公募債発行団体では初

OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定(2018.4.18)

- ・ 10~12都市選定(ドイツ・ボンなど)
- ・ アジア地域で初めて選定

国より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定(2018.6.15)

- ・ 29都市選定(うち「モデル事業」は10都市のみ)

2030年のあるべき姿

「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」

【経済】

人と環境の調和により、新たな産業を拓く

- 1 先進のまちを目指した新たなビジネスの創出
- 2 新たな産業の核となるエネルギー産業の創出

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴールとKPI



- 従業員一人あたり市内GDP(名目)
現在(2014年): 8,016千円
⇒ 2030年: **9,320千円**



【社会】

一人ひとりが行動し、みんなが輝く社会を拓く

- 1 ジェンダー平等などの取組により誰もが活躍できる場の創出
- 2 市民参加型の活動による生活の質(QOL)の向上

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴールとKPI



- 付属機関等の女性委員の参画率
現在(2018年7月): 付属機関等の女性委員参画率が平均で50%超
⇒ 2030年: **全ての付属機関等の女性委員参画率が50%超**
- 就業率
現在(2015年): 52.8%
⇒ 2030年: **56.7%**

【環境】

世界のモデルとなる持続可能な街を拓く

- 1 他都市のモデルとなるエネルギー・マネジメント・循環システムの構築
- 2 コンパクトなまちの形成によるストック型社会の創造
- 3 技術と経験を生かした国際貢献の推進

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴールとKPI



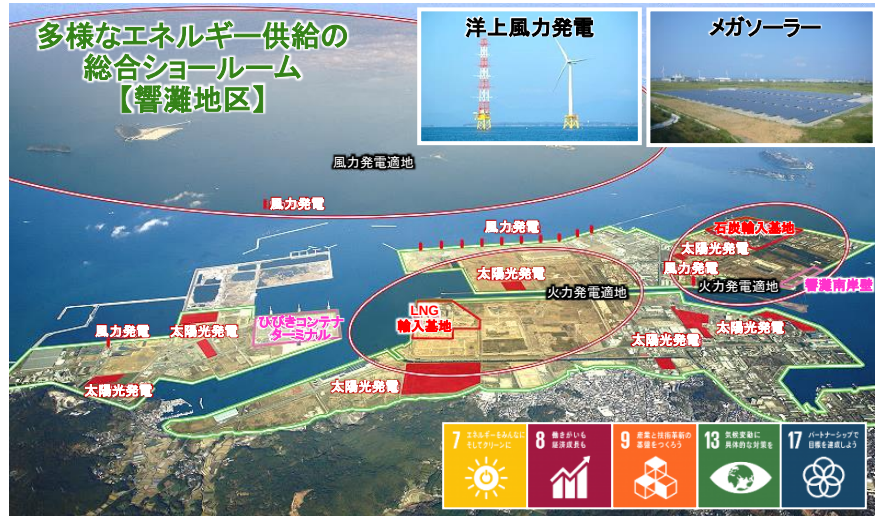
- 再生可能エネルギー導入量
現在(2018年7月): 288,000kW
⇒ 2030年: **700,000kW**
- 家庭ごみ量
現在(2018年7月): 164,330t
⇒ 2030年: **159,652t**
- アジアの環境人材育成のための研究員の受入数(延べ)
現在(2018年3月): 9,083人
⇒ 2030年: **10,000人**

SDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組事例

次世代エネルギーの拠点化

■ 北九州市地域エネルギー拠点化推進事業

- ・地域エネルギー会社「(株)北九州パワー」の設立(2015.12)
- ・バイオマス発電所の設置・運営事業者(優先交渉者)決定(2016.8)
- ・響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業者決定(2018.1)
(計画:最大22万kW、総事業費1,750億円)



市民を中心としたESDや市民活動の推進

■ 北九州ESD協議会の取り組み

- ・「地域・NPO+大学」のコラボレーション



北九州まなびとESDステーション



大学生による子ども向けESD講義

■ 女性活躍の推進

- ・北九州市の付属機関及び市政運営上の会合
女性委員参画率 50%超 (政令市初)



環境国際協力の推進

- アジア諸都市に対する、廃棄物管理、エネルギー、上下水、環境保全など「北九州モデル」を活用した総合的なまちづくりの輸出

アジアとつながる 3つの力

公害克服の経験	環境・エネルギー技術	フレンドリーな関係
---------	------------	-----------

-  **スラバヤ市(インドネシア)**
2012年11月 「環境姉妹都市提携」
-  **ハイフォン市(ベトナム)**
2014年4月 「姉妹都市協定」
-  **プノンペン都(カンボジア)**
2016年3月 「姉妹都市協定」
-  **ダバオ市(フィリピン)**
2017年11月 「環境姉妹都市提携」



プノンペン都との姉妹都市協定締結式



廃棄物分別中間処理施設(スラバヤ市)

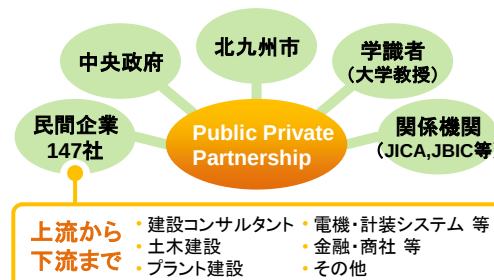


環境国際ビジネスの推進

■ 官民連携による海外水ビジネスの展開

- ・「北九州市海外水ビジネス推進協議会」と連携
- ・水ビジネス受注件数: 54件(2018.8時点)
(カンボジア、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、中国)
- ・「プノンペンの奇跡」に導く

北九州市海外水ビジネス推進協議会



プノンペンの奇跡



カンボジア工業手工芸省と覚書締結





女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、 地方創生の「成功モデル都市」を目指す

北九州経済の現状

■ 北九州の経済は緩やかに拡大

輸出

全体として
高水準で推移

設備投資

堅調な収益動向を
背景とした能力増強の
動きから、
製造業を中心に増加

個人消費

振れを伴いながら
緩やかに持ち直し

住宅投資

横ばい圏内で推移

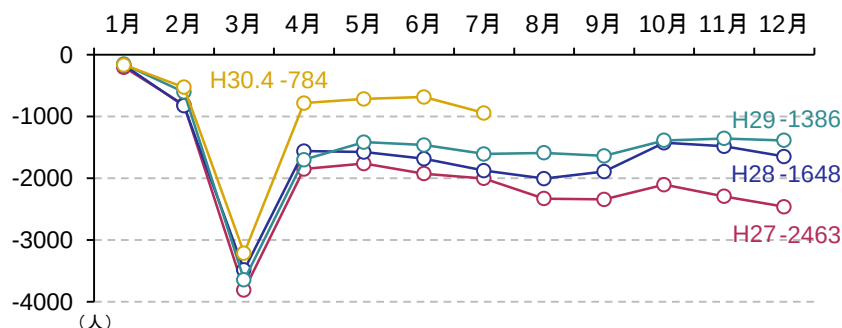
生産

全体として
高水準で推移

雇用

引き続き改善

■ 社会動態増減数



平成30年4月時点の転出超過は784人
平成27年の取組開始以降、初めて1,000人を切る

住みよいまちを創る

- 子育て支援
- 女性・高齢者の活躍推進
- 若者の定着支援



新しい人の流れをつくる

- 映画ロケ
- ものづくり観光の推進
- インバウンド促進



北九州ポップカルチャーフェスティバル
や日中韓新人MANGA選手権

活力あるまちをつくる

- 小倉魚町地区を中心とした「リノベーションまちづくり」
- 創業支援
- 北九州空港の利用促進



フィンテックサービス関連企業と事業連携

北九州空港利用者数
過去最高

H29年度 **164.4万人**

外国人観光客数
過去最高

H29年次 **68.2万人**

小倉都心部の地価

上昇に転じる

産学官金労言、議会・住民が一体となって、「オール北九州」で地方創生を推進



女性・高齢者の活躍推進

■ ウーマンワークカフェ

- 国・県・市が一体となり、女性の”はたらく”をワンストップでサポート
- 政令市において、国・県・市が一体となって女性の就業支援に取り組むのは**全国初**
- 開設により新規利用者数**約50%増加**



ウーマンワークカフェ



■ 「北九州市女性創業支援 ひなの会」

- 日本一創業しやすいまちを目指し、平成29年4月に設立
- 民間企業が中心となって女性の創業を支援



ひなの会 設立

■ シニアハローワーク

- 「シニアハローワーク戸畑」を開設し、おおむね50歳以上の求職者を重点的に支援(**全国初**)
- 市と国との連携による一体的な事業運営を実施
- 開設により就職決定数**約20%増加**



シニアハローワーク戸畑

子育て支援の取組

■ 子ども食堂の開設・運営支援

■ 保育サービスの充実

⇒ **年度当初の待機児童ゼロ**
(H23～29年度)

■ 小児救急医療体制の充実

■ 「赤ちゃんの駅」の設置 (市内424か所／平成30年3月末現在)

⇒ **全国で初めて**民間事業者と協力して事業を開始

■ 放課後児童クラブ

⇒ 全国に先駆けて**全児童化**を実現



子ども食堂



若者の定着支援の取組

■ 北九州ゆめみらいワーク

- 「仕事」と「学び」をテーマとした、キャリア教育イベント
- 主に小・中学生・高校生を対象に、企業・大学・短期大学・専門学校の人々と交流する機会を提供



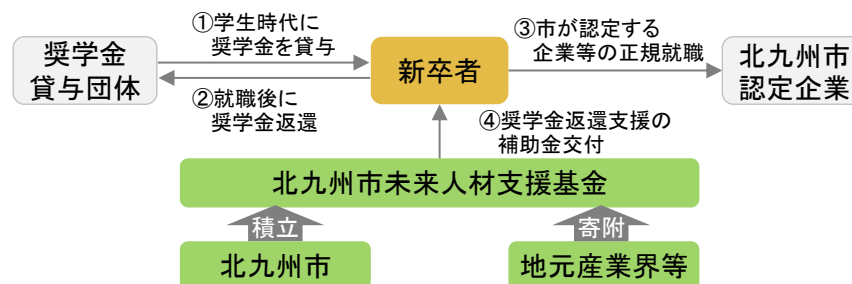
北九州ゆめみらいワーク

【H30実績】

参加者：7,103人 / 出展：121団体

■ 北九州市未来人材支援事業

- 市内企業への就職と定住を条件に奨学金の返還を支援



創業支援の充実

- まち全体をインキュベーションエリアとし、まちぐるみで創業を応援！！

「北九州スタートアップネットワークの会」

平成30年度 さらに発展、強化！

「COMPASS小倉（創業支援中核施設）」

- 相談内容に応じた人繋ぎ（相互連携）
- 創業に関する情報や人の集約と発信
- 相互交流・イノベーション創出



相談内容に応じた
情報や人つなぎ（相互連携）

商工会議所・金融機関・FAIS・ウーマンワークカフェ・ひなの会
・土業まちはチームだ・高専・ものづくり光継会等

民間
コワーキング・
フリーランス等

各種
相談

各種
相談

インキュベーション
施設入居者

「国家戦略特区（地方創生特区）」の活用

- 平成28年1月に特区指定を受け、地方創生の成功モデル都市に向けたさまざまな取り組みを推進



介護ロボット等の実証実装



汐風香る魅惑の「ワイン特区」



特区民泊 平尾台



公道を活用したにぎわいの創出

「リノベーションまちづくり」で地域活性化

- 平成23年度から小倉駅に近い商店街を中心に「リノベーションまちづくり」を推進
- 空きビルや空き家などの遊休不動産を再生し、産業振興、雇用創出、コミュニティ再生、エリア価値の向上などに取り組む

魚町サンロード商店街

平成29年、経済産業省が選定する
「はばたく商店街30選」に選ばれる



自由ヶ丘地下歩道

九州女子大学の学生有志が、
公共空間の「道路」をリノベーション



北九州空港の利用促進

- 北九州空港将来ビジョン推進強化期間（平成28～30年度）と位置付け、福岡県とのより緊密な連携のもと、関連事業を集中的に実施

◆ 相次ぐ新規就航（7路線）

- 中国：1（大連）
- 韓国：4（釜山、仁川、襄陽、務安）
- 台湾：1（台北※）
- 沖縄：1 ※H30年度就航予定路線

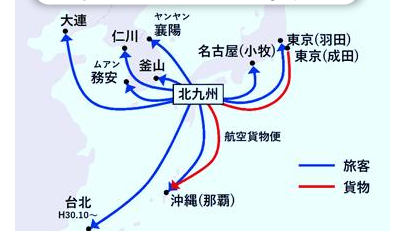
◆ 増加する空港利用者

- H28: 140万人
- H29: 164万人（開港以来最高）

24時間利用可能な海上空港



航空ネットワークの拡充



フィルム・コミッション

- 北九州フィルム・コミッションは、日本初のフィルム・コミッション組織
- 都市イメージの向上を目的として、映画、テレビドラマ、CMなどのロケ誘致・支援業務を推進

経済波及効果

76,922
億
(過去最高)
万円

誘致・支援実績

累計 **374** 本
(平成30年3月現在)

受賞

東京ドラマ アワード 2014
特別賞
平成28年度 ふるさとづくり大賞
団体表彰

<撮影支援本数の前年度対比等>

	H29年度	H28年度	累計 (H元年～H30.3末)
合計	44本	35本	374本
映画	11本	4本	99本
テレビドラマ	13本	23本	169本
CM 等	20本	8本	106本

撮影風景



インバウンド促進のため
海外作品も積極的に誘致

ものづくり観光

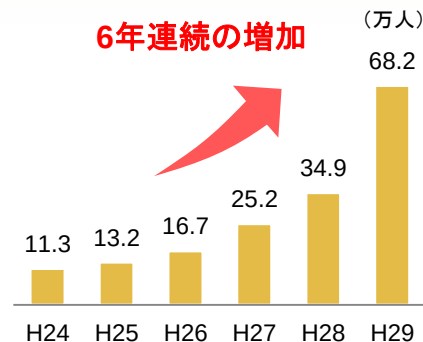
- 官民一体となった北九州ならではの「ものづくり観光」を推進



外国人観光客誘致

- 外国人観光客の増加を市の経済活性化に結び付けるため、効果的なプロモーションやセールス活動を実施

外国人観光客数の推移



増加の要因

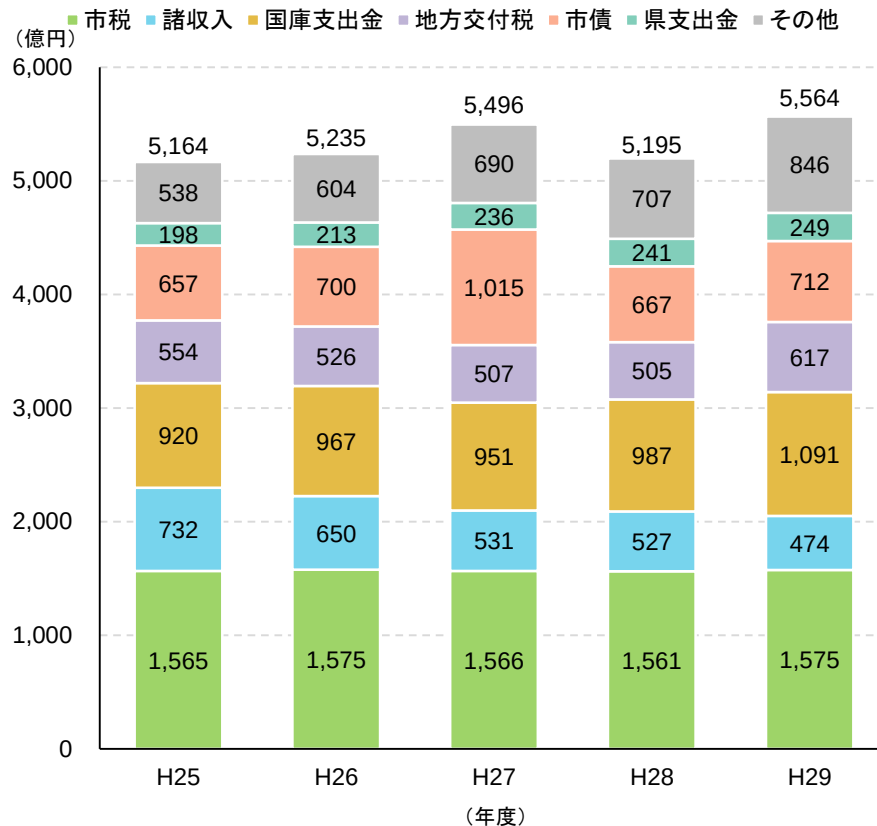
- クルーズ船の寄港増加
- 航空路線の拡大
- 訪日プロモーションの効果



4. 北九州市の財政状況

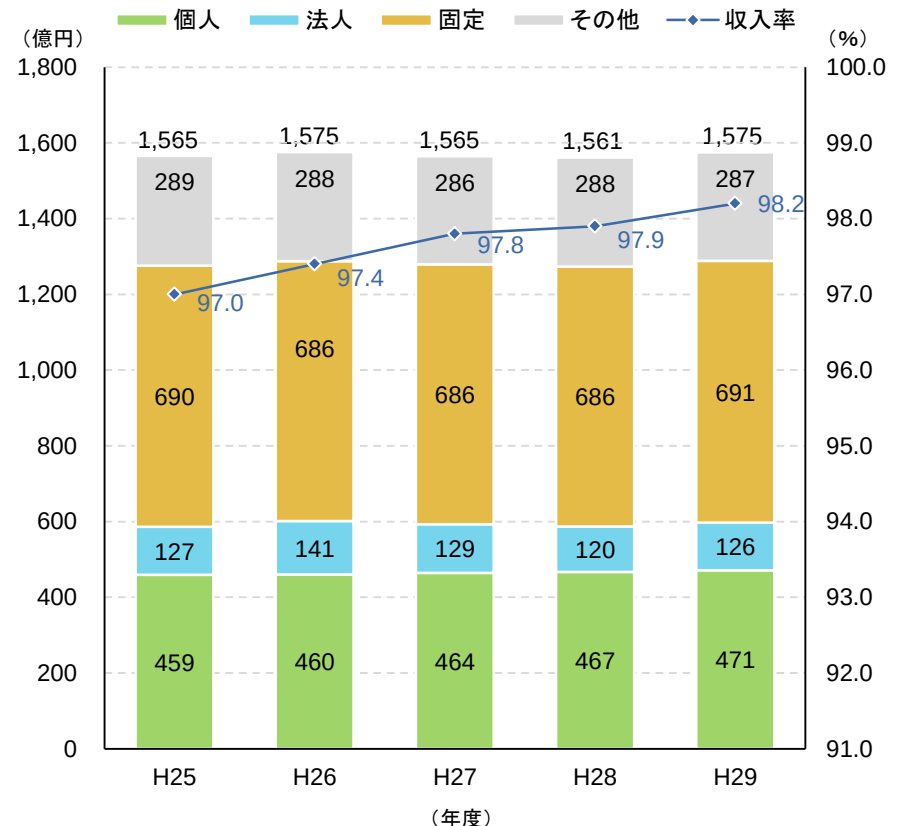
歳入決算額の推移(普通会計)

- 景気の緩やかな回復を背景に個人市民税、法人市民税ともに増加し、市税は3年ぶりに増加
- 県費負担教職員制度の見直しに伴い、県税交付金、地方交付税等が増加



市税収入額の推移(普通会計)

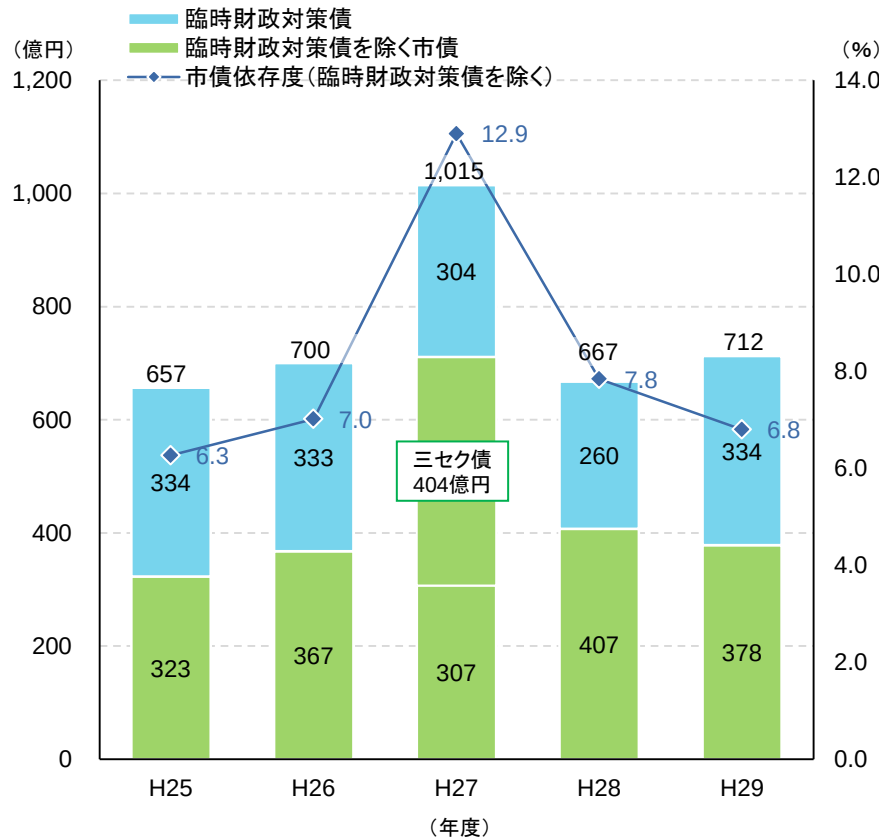
- 個人市民税、法人市民税、固定資産税ともに増加し、市税全体では対前年度比13.2億円(+0.8%)の増加
- 市税収入率は98.2%と7年連続上昇となり、市発足以来最高の収入率に



平成29年度決算 市債発行額及び市債残高の推移

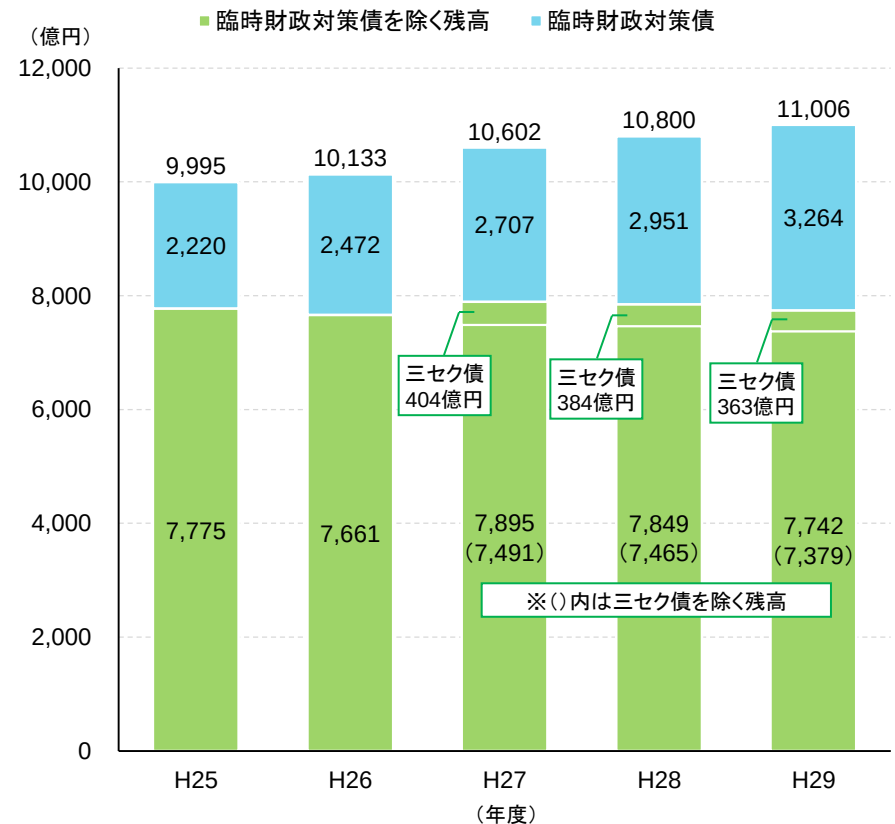
市債発行額と市債依存度の推移(普通会計)

- 地方交付税の振り替えである臨時財政対策債を除く市債発行額は378億円で、対前年度比29億円(▲7.1%)減少、歳入全体に占める市債の割合は前年度を1.0ポイント下回り6.8%に低下
- 臨時財政対策債を含む発行額は712億円で、昨年度の667億円から45億円(+6.7%)増加



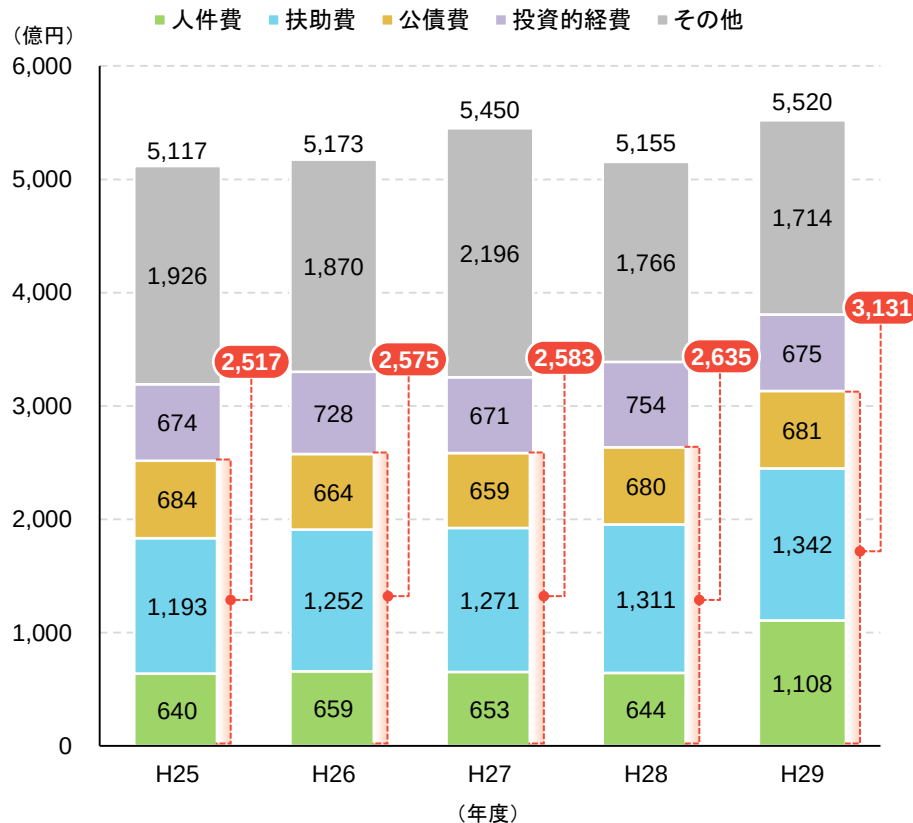
市債残高の推移(普通会計)

- 臨時財政対策債及び三セク債を除く公共事業等にかかる市債残高は7,379億円となり、対前年度比86億円(▲1.2%)減少



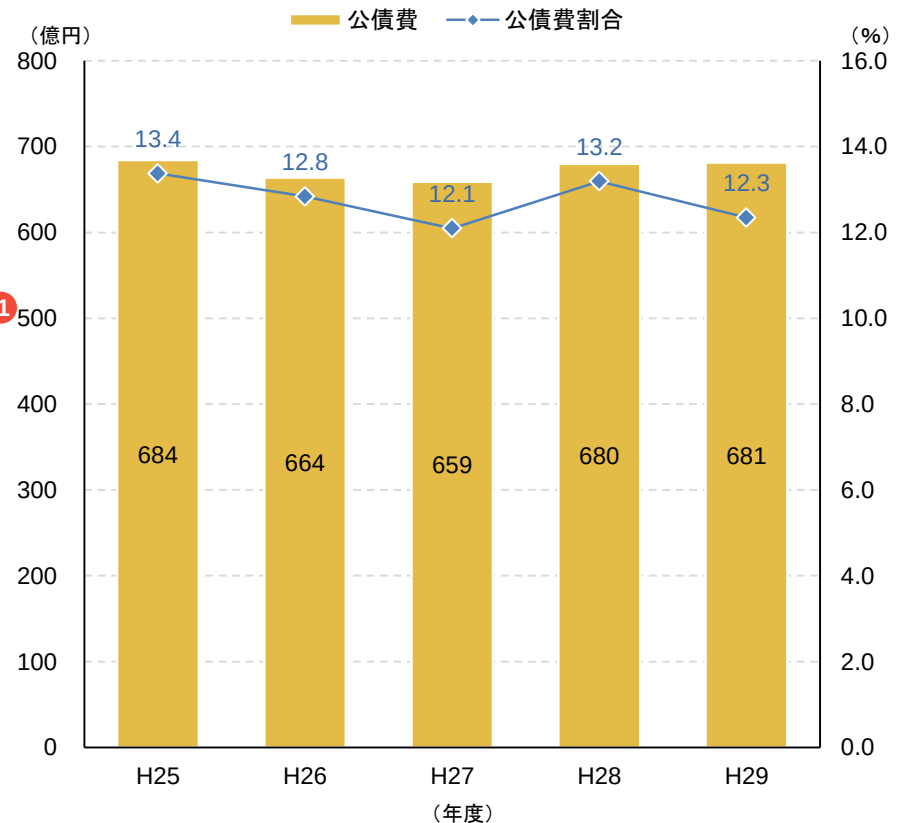
歳出決算額の推移(普通会計)

- ・ 義務的経費は、4年連続の増加
- ・ 人件費は県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に伴い増加
- ・ 扶助費は幼稚園及び保育所等に対する施設型給付事業の増等により過去最高額に
- ・ 投資的経費はスタジアム整備事業終了等により減少



公債費の推移(普通会計)

- ・ 公債費は、公債償還基金積立金の増等により、対前年度+0.1%の増加



健全化判断比率

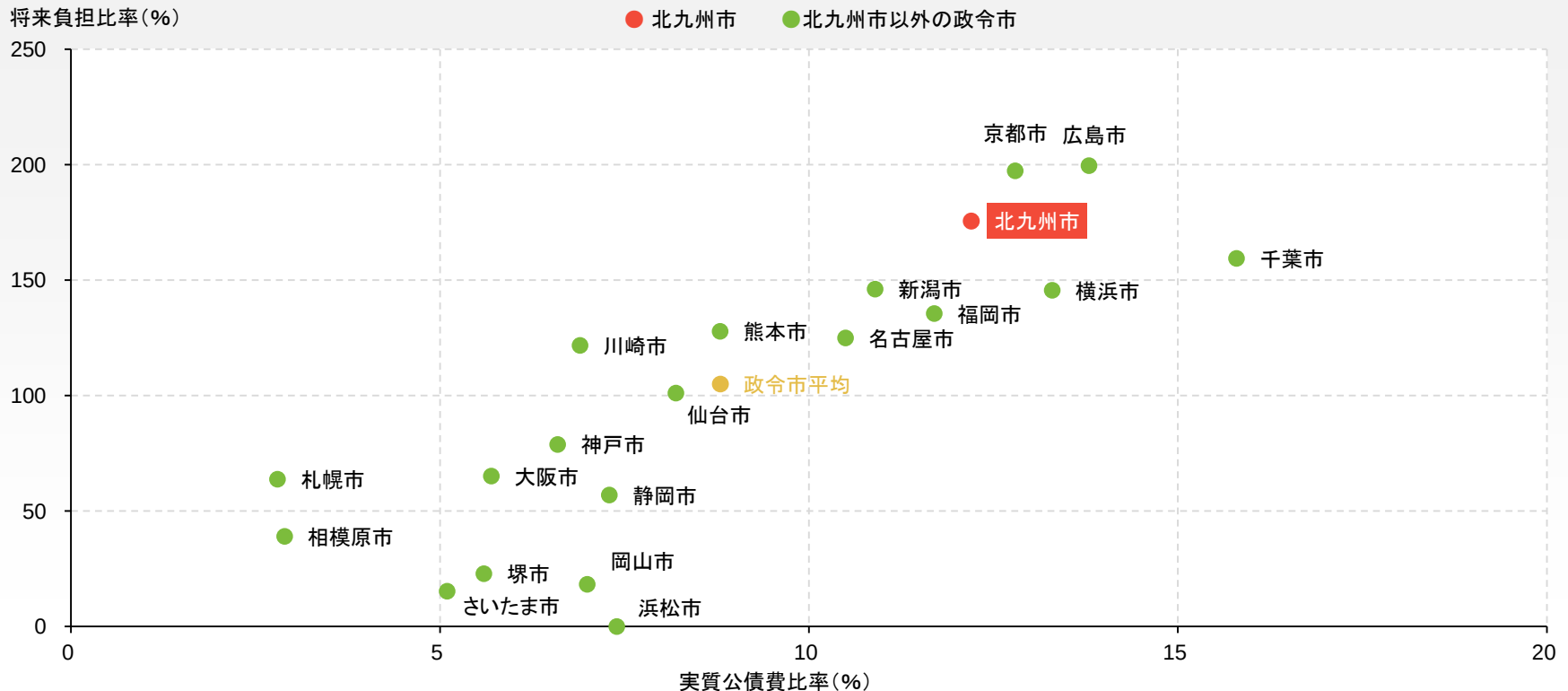
自治体財政の健全化を示す「健全化判断比率」は、全ての指標で基準値を大きく下回る

⇒ **財政規律を堅持し財政の健全性を維持**

- 実質赤字比率は、連結ベースを含め「比率なし」の黒字を確保
- 実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値を大きく下回る

区分	北九州市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	-	16.25%	30.00%
実質公債費比率	12.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	175.6%	400.0%	-

実質公債費比率、将来負担比率の政令市の状況



平成29年度決算 公営企業の経営状況について

平成29年度 公営企業の決算状況

(単位: 百万円)

- 公営企業会計全てにおいて十分な資金剰余を確保

区分		上水道事業			工業用水道事業			交通事業			病院事業			下水道事業		
事業内容		水道事業の経営と施設整備 国際技術協力の推進			工業用水道の 経営と施設整備			市営バス事業の 経営と施設整備			市立病院の 経営と施設整備			下水道事業の経営と施設整備 国際技術協力の推進		
決算年度		H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29
収益的 収支	収入	20,147	21,454	21,266	1,804	1,819	1,786	1,839	1,793	1,812	23,565	23,773	23,803	29,493	28,730	28,595
	支出	18,329	18,956	18,916	1,405	1,343	1,399	1,765	1,825	1,907	24,714	25,007	24,704	27,656	27,152	27,374
	差引(A)	1,818	2,498	2,350	399	476	387	74	▲32	▲95	▲1,149	▲1,234	▲901	1,837	1,578	1,221
資本的 収支	収入	5,148	4,137	3,134	48	249	378	77	78	91	2,028	5,014	4,818	13,511	13,272	12,244
	支出	13,043	12,072	13,071	556	974	1,347	181	197	139	3,318	6,178	5,747	25,437	24,916	24,351
	差引(B)	▲7,895	▲7,935	▲9,937	▲508	▲725	▲969	▲104	▲119	▲48	▲1,290	▲1,164	▲929	▲11,926	▲11,644	▲12,107
差引収支(A+B)		▲6,077	▲5,437	▲7,587	▲109	▲249	▲582	▲30	▲151	▲143	▲2,439	▲2,398	▲1,830	▲10,089	▲10,066	▲10,886
補填財源等		6,289	5,772	8,016	128	265	590	34	69	78	1,862	2,058	1,584	10,300	9,904	10,672
単年度資金収支		212	335	429	18	16	9	4	▲82	▲66	▲577	▲340	▲246	211	▲162	▲214
年度末資金剰余		5,265	5,600	6,029	1,759	1,775	1,783	1,647	1,565	1,499	3,717	3,377	3,131	3,093	2,931	2,717

平成29年度決算 地方三公社の決算状況について

平成29年度 地方三公社の決算状況

(単位: 百万円)

- 地方三公社は、いずれも安定した経常利益、剰余金を確保

公社名 決算年度		北九州市住宅供給公社			北九州市道路公社			福岡北九州高速道路公社		
		H27	H28	H29	H27	H28	H29	H26	H27	H28
出資状況	出資団体数	1	1	1	1	1	1	3	3	3
	出資総額	10	10	10	742	742	742	221,298	221,520	222,168
	出資当該団体	10	10	10	742	742	742	28,748	28,748	28,748
	出資その他団体	0	0	0	0	0	0	192,550	192,772	193,420
貸借対照表	流動資産	2,745	3,098	3,053	1,236	1,950	2,121	5,814	5,595	7,454
	固定資産	15,494	15,211	14,960	11,300	11,272	11,251	1,250,650	1,254,140	1,260,053
	繰延資産							879	928	907
	資産合計	18,239	18,309	18,013	12,536	13,222	13,372	1,257,343	1,260,663	1,268,414
	流動負債	757	1,105	1,692	122	132	166	93,142	73,896	79,358
	固定負債	10,502	10,086	9,118	5,976	5,794	4,879	542,545	526,661	488,660
	特別法上の引当金等				5,696	6,554	7,585	399,381	437,554	477,171
	負債合計	11,259	11,191	10,810	11,794	12,480	12,630	1,035,068	1,038,111	1,045,189
	資本金	10	10	10	742	742	742	221,297	221,520	222,167
	剰余金	6,970	7,108	7,193				978	1,032	1,058
損益計算書	資本合計	6,980	7,118	7,203	742	742	742	222,275	222,552	223,225
	負債・資本合計	18,239	18,309	18,013	12,537	13,222	13,372	1,257,343	1,260,663	1,268,414
	営業収益 (a)	5,429	5,428	5,768	1,332	1,338	1,346	58,415	60,017	60,929
	営業費用 (b)	5,112	5,149	5,540	658	784	749	49,117	52,169	53,941
	一般管理費 (c)	148	143	146	94	95	87	1,388	1,124	1,219
	営業利益 (d=a-b-c)	168	136	82	580	459	510	7,910	6,724	5,769
	営業外収益 (e)	14	12	21	89	411	550	46	35	39
	営業外費用 (f)	7	10	5	29	12	8	7,906	6,705	5,782
	経常利益 (g=d+e-f)	176	138	98	640	858	1,052	50	54	26
	特別利益 (h)									
	特別損失 (i)			13	640	858	1,052			
	特定準備金計上前利益 (j=g+h-i)	176	138	85	0	0	0	50	54	26
	特定準備金取崩 (k)									
	特定準備金繰入 (l)									
	法人税等 (m)									
特別損失	当期利益 (n=j-m)	176	138	85	0	0	0	50	54	26
	住宅供給公社については (n=j+k-l-m)	176	138	85						

平成29年度決算 外郭団体の決算状況について

平成29年度 外郭団体(地方三公社を除く)の決算状況

(単位:百万円)

- 各々の法人の特性に応じた正味財産、経常利益を確保

法人名	貸借対照表			損益計算書(正味財産増減計算書)		
	資産	負債	正味財産 (自己資本)	収益	費用	経常利益(※)
(公財)アジア成長研究所	1,101	57	1,044	170	148	22
(公財)北九州国際交流協会	378	3	375	62	64	▲ 2
(公大)北九州市立大学	19,432	4,642	14,790	7,180	7,029	151
(公財)アジア女性交流・研究フォーラム	390	24	366	422	440	▲ 18
(公財)北九州市芸術文化振興財団	444	333	111	1,634	1,618	16
(公財)北九州国際技術協力協会	661	17	644	194	208	▲ 14
(公財)北九州市環境整備協会	960	127	833	821	814	7
(株)北九州輸入促進センター	8,590	3,073	5,517	1,289	1,028	261
(株)北九州テクノセンター	2,062	55	2,007	149	133	16
(公財)北九州ヒューマンメディア創造センター	1,385	103	1,282	251	313	▲ 62
(公財)北九州産業学術推進機構	1,120	342	778	2,022	1,998	24
皿倉登山鉄道(株)	153	90	63	142	120	22
(公財)北九州観光コンベンション協会	4,031	444	3,587	1,369	1,219	150
(公財)福岡県豊前海漁業振興基金	2,483	0	2,483	31	20	11
(公財)北九州市どうぶつ公園協会	910	205	705	612	574	38
北九州高速鉄道株式会社	17,915	4,952	12,963	2,420	2,354	66
ひびき灘開発(株)	12,955	1,170	11,785	2,650	1,744	906
北九州埠頭(株)	490	139	351	425	397	28
北九州貨物鉄道施設保有(株)	3,107	2,706	401	314	310	4
北九州エアターミナル(株)	5,080	740	4,340	981	838	143
(株)北九州ウォーターサービス(※3)	453	258	195	1,791	1,706	85
(公財)北九州市学校給食協会	263	258	5	3,424	3,417	7

※ 公益財団法人は一般正味財産増減額(税引前)



- 北九州市では、平成26年度以降の新たな行財政改革の大きな方向性として、「北九州市行財政改革大綱(平成26年2月)」を策定
- この大綱の具体的な取り組み内容については、「北九州市行財政改革推進計画」としてとりまとめ、毎年度、見直しを行いつつ、当該推進計画や取り組み結果等を予算・決算期に公表
- 持続可能で安定的な財政の確立・維持に努めるため本大綱を策定し、より一層の事業の「選択と集中」を行う

平成29年度の行財政改革の取り組み

簡素で活力ある市役所の構築

- 課題解決型・成果重視型組織の構築
- 簡素で効率的な組織・人員体制の推進
- 職員数の削減(平成8年度11,358人⇒平成29年度8,257人)
- 職員給与の適正化

効果額 **641** 百万円

外郭団体改革

- 外郭団体の役割に照らし、各団体のあり方を見直し
- 市の適切な関与による政策の実現
- 外郭団体への財政支出精査

効果額 **62** 百万円

官民の役割分担と持続的な仕事の見直し

- ごみ収集や給食調理業務など定型的業務の民間委託化等
- 民間活力の更なる導入の視点から持続的事業を点検見直し
- 裁量的経費の見直し

効果額 **1,718** 百万円

公共施設のマネジメント

- 公共施設の総量抑制(今後40年間で保有量約20%削減)
- 施設分野別の実行計画等の推進

効果額 **5** 百万円

平成29年度における行財政改革効果額

2,265百万円(全会計ベース)

平成28年度決算 北九州市の財務書類

- 市民の財産である「資産」は2兆5,513億円、将来世代の負担となる「負債」は、1兆1,651億円、過去及び現世代や国・県が負担済みであり将来返済の必要がない「純資産」が1兆3,862億円
- 経常費用は3,948億円、経常収益が315億円、臨時損失が26億円、臨時利益が5億円で、「純行政コスト」は、3,654億円
- この「純行政コスト」が、市税や地方交付税等によりまかなう額

「一般会計等の財務書類の概要」

貸借対照表 (BS)

(H29年3月31日現在)

資産	2兆5,513億円	負債	1兆1,651億円
固定資産	2兆5,092億円	固定負債	1兆558億円
有形固定資産	2兆1,809億円	地方債	9,960億円
事業用資産	8,529億円	退職手当引当金	544億円
(庁舎、学校、市営住宅等)		その他	55億円
		(損失補償等引当金等)	
インフラ資産	1兆3,193億円		
(道路、港湾、公園等)		流動負債	1,093億円
物品	87億円	1年以内償還予定	1,004億円
(自動車、機器類等)		地方債	
		その他	89億円
無形固定資産	29億円	(賞与等引当金等)	
投資その他の資産	3,254億円		
(出資金、基金、長期貸付金等)		純資産	1兆3,862億円
流動資産	421億円		
現金預金等	80億円		
財政調整基金	98億円		
その他	243億円		
(未収金等)			

行政コスト計算書 (PL)

(H28年4月1日～H29年3月31日)

経常費用	3,948億円	経常収益	315億円
業務費用	1,899億円	使用料及び手数料	162億円
人件費	665億円	その他	152億円
(職員給与費、退職手当引当金繰入額等)		(利子、雑入等)	
物件費等	1,090億円	臨時利益	5億円
(物件費、維持補修費、減価償却費等)		(資産売却益等)	
その他の業務費用	145億円	純行政コスト	3,654億円
(支払利息等)			
移転費用	2,048億円		
補助金等	467億円		
社会保障給付	1,243億円		
その他	338億円		
(他会計への繰出金等)			
臨時損失	26億円		
(資産除売却損等)			

資金収支計算書 (CF)

(H28年4月1日～H29年3月31日)

前年度末資金残高		46億円
業務活動収支	180億円	
投資活動収支	△341億円	
財務活動収支	155億円	
本年度資金収支額		△7億円
本年度末資金残高		39億円
+本年度末歳計外現金残高		41億円

純資産変動計算書 (NW)

(H28年4月1日～H29年3月31日)

前年度末純資産残高		1兆3,829億円
純行政コスト	△3,654億円	本年度差額 13億円
財源(税収等、国県等補助金)	3,667億円	
資産評価差額等	19億円	
本年度純資産変動額		32億円
本年度末純資産残高		1兆3,862億円



豊かな未来に向け、GO! GO! 北九州市躍進予算



- 平成30年は、北九州市が誕生してから、55周年の節目の年
- まちのにぎわいを生む、文化・芸術、観光・スポーツなどの各種取り組みを進め、国内外への情報発信に努め、55周年を北九州市への新たな人の流れをつくる契機とし、豊かな未来を目指し、力強く躍進する
- こうした思いを込めて、上記のキャッチフレーズを掲げ、北九州市の将来の発展、喫緊の課題への的確に対応するため、「4つの柱」を重点的に推進する

平成30年度における一般会計における予算額

5,630億円 (前年度比+2億円、+0.0%)

平成30年度予算の4つの柱

にぎわいを創出し、 新しいひとの流れをつくる

- 文化を活かしたにぎわいの創出
- スポーツ、観光やMICE等によるにぎわいの創出
- 定住・移住促進に向けた取組を推進
- 若戸大橋・若戸トンネルの無料化



魅力あるしごとを創出し、 活力あるまちをつくる

- まちの成長に向けた取組を推進
- 学校施設の老朽化対策の推進
- 都市基盤の整備推進



安心して子どもを生み育てる ことのできるまちをつくる

- 子育て環境の更なる充実
- 教育環境の更なる充実
- 平和への取組の推進



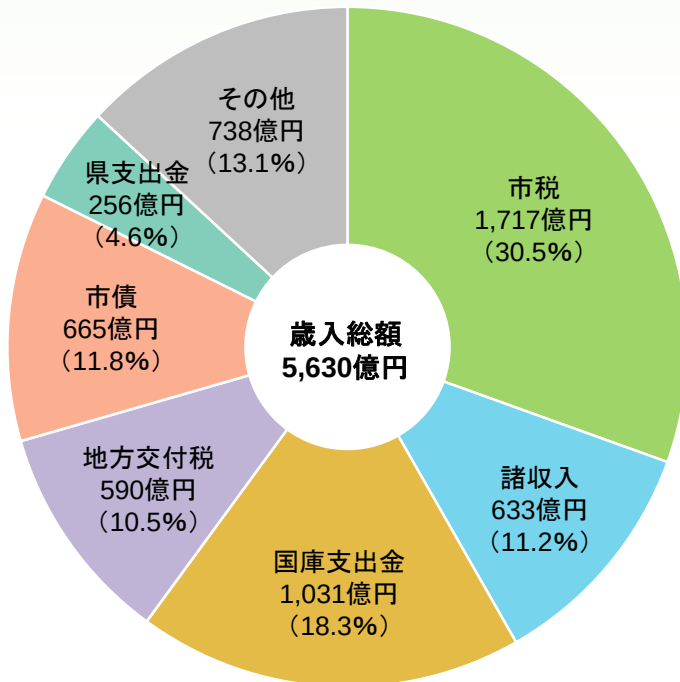
誰もが安心して暮らせる まちをつくる

- 健康で長寿の社会づくりの推進など福祉・医療の充実
- 安全・安心を実感できるまちづくりの推進



歳入の内訳(一般会計)

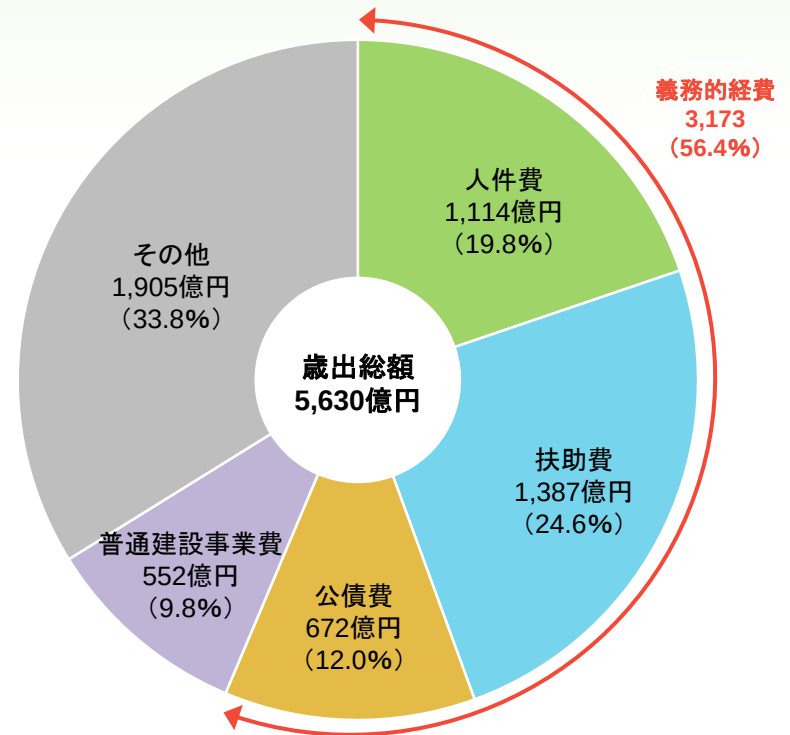
- 市税は1,717億円(対29年度当初予算比132億円の増、+8.3%)で過去最大
- 地方交付税等(地方交付税+臨時財政対策債)は、920億円(対29年度当初予算同額)
- 市債発行額は、対前年度比39億円の増加。また、それに伴い、市債依存度は、11.8%となり、対前年度比0.7ポイント増加



※括弧内は構成比

歳出の内訳(一般会計)

- 義務的経費については、扶助費が大きく増加することから、歳出全体に占める割合は0.4ポイント増加
- 投資的経費については、平成29年度2月補正予算で前倒し計上した予算額108億円を含めると660億円に



※括弧内は構成比

グリーン公共事業

- グリーン公共事業とは、投資的経費のうち、環境負荷低減や資源の有効活用、環境保全・再生・創造を目的に実施される事業
- 市長公約「環境とアジア！北九州を元気にする緑の成長戦略」の取組の一環として、平成23年度より、グリーン公共事業の重点化を図る
- 平成30年度一般会計予算では、投資的経費のうち、グリーン公共事業費が147億円(26.6%)を占める

主な対象事業

建築物、設備の長寿命化
及び省エネルギー化

交通円滑化、
交通システムの高効率化

森林の適正管理、
街路樹、公園整備などの緑化推進

多様な自然環境の保全
(山地、河川、海)

大気、水質、土壌、騒音、振動等
の保全や対策の推進

勝山公園整備事業



折尾地区総合整備事業



下水道長寿命化計画の策定



自動車交通の円滑化
(新規道路の整備・道路改良)



道路のLED化事業



黒崎駅整備事業



本資料に関するお問い合わせ先

北九州市財政局財務部財政課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL:093-582-2003 FAX:093-582-2070

E-mail: zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp

北九州市

活用しなくちゃもったいない！
とってもお得な！

『ふるさと納税』

実質

自己負担 **2,000** 円で **北九州市** の

食

文化

旅

美容

などを体感いただけます。

辛子明太子



もつ鍋



ハム



無添加石鹸



小倉牛



九州醤油



ふるさと納税のお申し込み方法

お申し込みは簡単！インターネットから
ふるさと納税のポータルサイト『ふるさとチョイス』から簡単申し込み！！

クレジット決済での支払いも可能です。（詳しくは「ふるさとチョイス」のホームページへ）
インターネットをご利用いただけない場合は、以下コールセンターへお問い合わせください。



ふるさとチョイス

北九州市 ふるさと納税

検索

お問い合わせ JTBふるさと納税コールセンター ☎ 0570-666-532



市外にお住まいの方へ情報発信！
北九州ライフ（市公式情報サイト）

LINE@
はじめました。



お友だち登録は、こちらから。

『ふるさと納税』など、
北九州市のお得な情報を
LINEでお届けします。

